

霧降高原

「キスゲ平」通信

Vol. 22 のトピック

2019 年(平成 31 年)
4 月 1 日 発行

- ・日光の山に住まう神々
- ・自然情報
気温と降水量
マンサク開花
- ・イベント情報
シカ追い出し作戦

日光の山に住まう神々

「日光」という地名の由来

日光の起こりは奈良時代に勝道上人が補陀落山(現 男体山)で修業を行ったことによるとされています。補陀落山がいつから男体山と呼ばれるようになったのかは不明ですが、補陀落(ふだらく)が二荒(ふたら)になり、二荒が音読みされ「にっこう」となった後、漢字で「日光」が充てられたとの説が有力です。

そして、日光には男体山に連なる日光連山が存在します。それらは太郎山、大真名子山、子真名子山、帝釈山、女峰山。さらには赤薙山へと続き、赤薙山の稜線を下るとキスゲ平へと到達します。これら日光連山は全て 2000m 級の山であり、修行に際して適切なものであったでしょう。

山頂の祠

現在、これらの山が修行の地であったことを示すものとして、それぞれの山頂や、登山道の途中に祠があります。山頂の祠は他の山にあるものとは少々違いがあり、祀られているのは神様と仏さまの両方です。これ

は、神仏習合と神仏分離による影響と思われる。もともと日光を開山した勝道上人は仏教の方なので、初めは仏さまが祀られたのかもしれない。しかしながら、もし、勝道上人がやってくる以前からこの地に住んでいた人々により自然信仰があったとするならば、それぞれの山に自然信仰による神様が祀られた可能性もないとは言えません。

さて、可能性の話はこれくらいにして、それぞれの山に祀られている神様・仏さまをご紹介しましょう。

山の神々

キスゲ平に近い所から順番にご紹介します。

キスゲ平の小丸山山頂を抜け、一番最初に祠に出会うのは焼石金剛です。ここは仏教での金剛界への入口として祠が置かれたようです。何が祀られているか、何も祀られていないのかはわかりません。次は、赤薙山頂の赤薙山神社。ここには、少彦名命(すくなひこなのみこと)が祀られています。残念ながら、日光三山信仰に赤薙山は含まれな

いため、ここには神様だけです。

さらに進むと女峰山に着き、女峰山神社では田心姫命(たごりひめのみこと)と阿弥陀如来になります。その先の帝釈山は残念ながら女峰山の一部とみなされ、神社も祠もなし。

小真名子山神社、大真名子山神社には味耜高彥根命(あじすきたかひこねのみこと)が祀られています。この神様は太郎山神社に祀られている神様です。太郎山は少し離れています。太郎山神社にはこの神様と馬頭観音が祀られています。

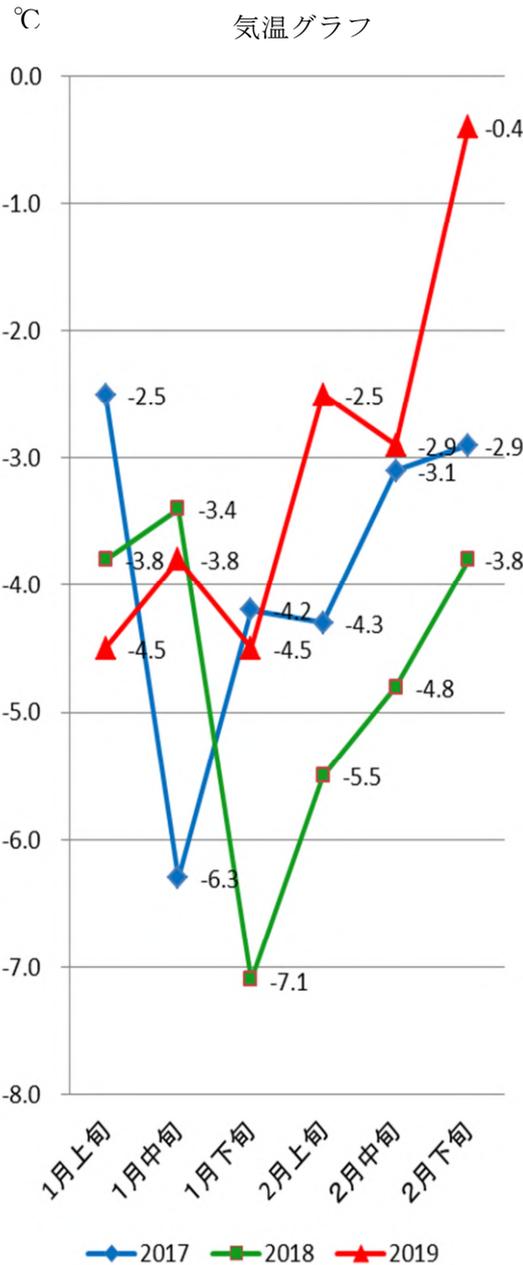
そして最後に男体山です。ここには大己貴命(おおなむちのみこと)と千手観音です。実際には神様と仏様が別々にではなく、神様＝仏様として祀られているようです。

明治時代に神仏分離しなかった?と思わせてくれる状況になっている日光の山々です。



自然情報

気温と降水量



今年の冬は雪の少ない年でした。毎年行っているスノーシューの無料レンタルが開園以来始めて中止となり、キスゲ平で企画していた冬のスノーシューイベントも一度も行えませんでした。また、例年通りならば、冬季に園地内を全面開放しますが、雪不足の為、この冬には開放に至らず、多くのお客様がっかりさせてしまいました。年々雪が少なくなっている印象ですが、来年は目一杯雪遊びができるほどの積雪を期待したいものです。

では、気温はどうだったのでしょうか？左のグラフはキスゲ平園地レストハウス付近に設置している温度計の過去3年間のグラフです。プロットは各期間の平均温度を表しています。

奥日光(華厳の滝付近)
1月・2月の合算

	降水量	積雪量
2017年	61.5mm	117.0cm
2018年	52.0mm	93.0cm
2019年	25.0mm	62.0cm

気象庁HPより

積雪が多くなる2月の気温を見ると、2019年は過去2年間と比べて高いことがわかります。

次に降水量はどうでしょうか？キスゲ平付近では正確な降水量を計測していないので、参考として奥日光の降水量と積雪量の表を載せています。

今年降水量・積雪量ともに少ないことがわかります。実際に奥日光では雪不足が深刻化し、かまくら祭りが中止になるなどの影響が出ました。

マンサク開花



鮮やかな黄色い花びらが広がり、キスゲ平に春の訪れを感じさせてくれる花です。遠くからではわかりにくい姿ですが、近くで見ると可愛くもあり、形が少しおかしくもある不思議な花です。3月14日満開。

【イベント情報】

シカ追い出し作戦!

作業内容

園内にシカが侵入していれば追い出します
冬季の間緩んだシカ柵の補修を行います

【日時】四月十三日(土) 十時から十二時

【集合】霧降高原レストハウス

【定員】なし。急斜面を登るので健脚向き

【参加費】無料

【持ち物】汚れてもよい服装、長靴又は登山靴、雨具 詳細はHPをご覧ください

【発行】